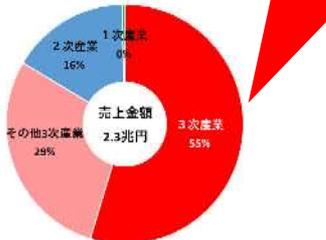


整備効果① 観光の利便性向上による地域活性化

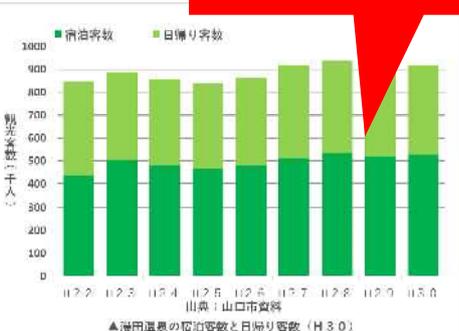
- ・湯田温泉スマートICの設置により、高速道路を利用した湯田温泉街へのアクセス向上にも寄与し、湯田温泉を中心とした周辺観光との周遊・連携ネットワークが形成されることにより、滞在型周遊観光の促進による地域活性化が期待されます。
- ・山口市では湯田温泉の宿泊収容力を活かし、『滞在型周遊観光』を促進するため、官民一体となった様々な取組みを進めています。



山口市の産業は、『観光』を軸とした三次産業が重要



宿泊客数は50万人を推移



整備効果② 地域間交流の促進による地域活性化 (コンベンション機能等の強化)

- ・湯田温泉スマートICの設置により、利便性やアクセス性が向上し、イベントやコンベンション開催地としての優位性が一層高まることが期待されます。
- ※山口大学へのアクセス時間は、下関・九州方面からは約6分短縮され、広島・近畿方面からは約8分短縮されます。
- ※湯田温泉街周辺には、山口市民会館、山口情報芸術センター、維新百年記念公園、山口大学など、イベントやコンベンション機能を持つ施設が多く立地しています。



整備効果③ 災害時のリダンダンシーの確保と機能の向上

・湯田温泉スマートICの設置により、防府方面と山口市街地方面とのリダンダンシー機能の向上が図られます。また、湯田温泉スマートIC直近には広域避難場所である『山口大学』が位置し、湯田温泉スマートICを活用した多様な救済活動の支援も期待されます。



『平成21年7月中国・九州北部豪雨』では、防府市～山口市間を連絡する国道262号が通行不能となり、防府市～山口市間は、大幅な迂回を強いられました。